教えて!ツル博士 その2

越冬地での ツルの毎日

隊列を組み飛行するナベヅル

四万十のおんちゃん： おまんら越冬に来て、毎日どんな生活しゆうがぜ?

ピーちゃん： **疑問、質問、何でもツル博士に聞いてみよう!**

ツル博士： ツルは、夜は外敵から守られ、かつ干満の影響を受けない川の中州で寝ておる。そして、天気にもよるが、翌朝はまだ薄暗い時間からねぐらを飛び立ち、えさ場の水田地帯に移動するんじゃ。**飛び立つ時は前傾してくびを伸ばし、「クルルル」と鳴いて、地上を数歩蹴るように助走してから舞い立つ**。飛行する時は、くびを前に足を後ろに伸ばして飛ぶんじゃよ。**少し上昇すると、リーダーを先頭にして必ず隊列を組むのも特徴**じゃ。

左は助走して舞い上がったばかりの幼鳥、右は飛行体勢になった親鳥

四万十のおんちゃん： そういや、地上でも空でもよく鳴きゆうねぇ。

ツル博士： そうじゃのぅ。ツルは昼間のほとんどは餌を取って過ごしておるんじゃが、**警戒心がとても強いので、昼も夜も必ず1羽が警戒のために立っている**ということは知っていたかな?**安全な場所でのんびりしている時や寝ている時でも、必ずオスの親鳥が警戒にあたっている**んじゃよ。

四万十のおんちゃん： そりゃ、知らんかったよ。おまんらを驚かさんように、人間も気をつけんといかんねぇ。

ピーちゃん： **おんちゃん、やさしいね!**

ねぐらでの様子（くびを折って寝ているツルが多い中、↑のツルは警戒している）

つるの雑記帳

啓発&取り組み紹介リーフレットができました

表面（啓発）

裏面（取り組み紹介）

ツルを見かけたら近寄らないで、静かに遠くから見守っていただきたいというお願いと、四万十つるの里づくりの会の取り組み紹介が一体になったリーフレットができました。学習会やイベントなどさまざまな場面で皆さんにお配りし、「ツルの里づくり」の取り組みを広げていきたいと思います。

※リーフレットに関するお問合せは事務局（0880-34-4333）まで。

ツルを見かけたら お願い

四万十川および中筋川流域で見られるツルは野鳥です。非常に用心深く常にあたりを警戒しています。特に光や物音に敏感で、一度飛び立つと遠くに飛び去ってしまい1羽も見られなくなります。自然のままのツルの生活をおびやかさないように、静かに遠くから見守って下さい。

四万十つるだよりに関するお問合せ

四万十つるの里づくりの会 事務局

〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内
tel：0880-34-4333 ／ fax：0880-34-1451
mail：naka10@cciweb.or.jp

※この会報は セブン-イレブンみどりの基金 の助成により印刷されています。

四万十つるだより

Vol.9 ●発行日／平成22年3月6日 ●発行／四万十つるの里づくりの会
http://www.shimanto-tsuru.com

※「四万十つるだより」内のツル類の写真の一部は、澤田佳長氏（野生生物環境研究センター所長）よりご提供いただいております。

おかげさまで大盛況!!

第1回 四万十 つるの里祭り

にぎわう会場

平成22年2月27日、四万十市立東中筋中学校において「第1回　四万十つるの里祭り」を開催しました。このお祭りは、四万十川・中筋川流域で行っている「ツルの里づくり」の取り組みを、より多くの地域のみなさんに知っていただきたいという会員の発意から開催が決定したもので、当日は約500人の人出でにぎわいました。

環境保全型の農業に関するセミナーや四万十市出身のシンガーソングライター堀内佳（けい）さんの心あたたまるコンサート、もち・菓子投げ、パネル展示など、さまざまな催しを通じて、ツル保護をはじめとした環境保全の重要性、そしてそれらと地域活性化とのつながりなどについて伝えました。

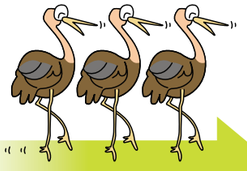
デコイの前でパチリ!
多和会長（左）と田中全四万十市長（右）

「四万十つるの里祭り」を終えて

四万十つるの里づくりの会 会長　多和博嗣（たわひろつぐ）

前日は大雨で、どうなることかと心配していましたが、当日はお天気にも恵まれ、多くの皆様に祭りにお越しいただくことができました。楽しい催しの中から、四万十川・中筋川流域にかつてツルがたくさん訪れていたことや、ツルが安心して過ごせる自然豊かな里づくりを進め、地域の活性化を図っていきたいという私たちの想いがおわかりいただけましたら、幸いです。

今後もこのようなイベントやえさ場・ねぐら整備など、さまざまな活動を通じて取り組みの輪を広げ、10年、20年先にはすばらしい「ツルの里」となるよう努力していきたいと思いますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。



気になる当日の様子は中面をチェック!!